

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
高次脳機能障害治療学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小沢 健一	C305	k-ozawa	金曜日 14:40~16:20		
授業の目的・概要	セラピストが臨床場面で接する、中枢神経系疾患、精神疾患、認知症、発達障害などの多くは高次脳機能障害である。さまざまな高次脳機能障害の症状を理解し、「どのような場面に対して問題を起こすのか」「評価や治療はどうしていけばいいのか」など、その概要を学び、さまざまな高次脳機能障害の機序・症状の理解・評価・治療に必要な知識を身につけることを目的とする。授業終了後、毎回確認テストを行い理解の定着をはかっていく。この講義は、同時双方向型授業等の遠隔授業で行っていく。				
学習上の助言	中枢神経系の理解、神経心理学や高次脳機能学で学んだ知識が必要。中枢神経系の理解に自信のない学生は早めに質問に来ること。講義は教科書を中心に行うので予習復習は必ず行うこと。				
教科書	高次脳機能障害学第2版/著:石合純夫/医歯薬出版/2012				
参考書	〈神経心理学コレクション〉失われた空間/著:石合純夫/医学書院/2009 他 神経心理学コレクションシリーズ 医学書院				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	神経ネットワークの概略を理解し、説明できる。			OT(2)	
②	CT、MRI 画像から高次脳機能障害を推測できる。			OT(2)、(3)	
③	左半球と右半球に特徴的な高次脳機能障害を理解し、説明できる。			OT(2)	
④	認知症、記憶障害、注意障害、遂行機能障害を理解し、説明できる。			OT(2)	
⑤	各高次脳機能障害における評価や治療を選択できる。			OT(2)、(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	高次脳機能障害の基礎知識を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 1-10p で予習すること。授業終了後レポートをまとめる。課題の返却でフィードバックを行う。	4	
2	画像診断のポイントを学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 10-21p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
3	失語・失読・失書を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 23-57p で予習すること。資料映像と配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
4	左半球症状・失行を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 61-88p で予習すること。資料映像と配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
5	行為・行動の障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 88-107p で予習すること。資料映像と配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
6	右半球症状・視覚失認を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 109-123p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
7	失認と関連症状・聴覚障害・触覚障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 123-149p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
8	半側空間無視を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 151-174p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
9	外界と身体処理に関わる空間性障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 174-192p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	
10	注意と注意障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 193-197p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

11	記憶障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 197-220p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4
12	遂行機能障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 220-235p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4
13	認知症・せん妄を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 237-262p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4
14	外傷性脳損傷による高次脳機能障害を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	事前に教科書 262-274p で予習すること。配布スライドにそって学び、授業後半で確認テストを行う。	4
15	各種検査バッテリーの使い方を学ぶ。 フィードバック：課題返却と授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	この講義で出てきた各種テストバッテリーを実際に行う。	4
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	0	0	0	0	10
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	10	90
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末の定期試験(筆記試験)を実施して評価する。(90%) 問題(回答)形式は、記述・穴埋め・選択式である。	試験は各自に返却し、解説する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	毎回行う確認テストは、評価対象とする。(10%)	テストを終了後、課題返却により解説していく。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

備 考

担当教員：◎小沢健一

高次脳機能学や神経心理学をしっかりと復習しておくこと。

教員の実務経験：担当教員は作業療法士として 25 年以上の臨床経験がある。

実践的授業の内容：臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。

双方向型授業：Microsoft Teams を使用して行う。

授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがあるので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意すること。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によりシラバスの変更がありうる可能性がある。